



みなみ風

大府南中学校
学校だより
第357号(R2-10)
令和2年11月30日(月)

「嚴重警戒、より一層の感染症予防対策を」

大府南中学校長 青木 邦幸

第3回の定期テストが終わりました。11月は行事もなく、1年の中でいちばん学習に集中できる月です。生徒のみなさんの学習の成果が発揮できていることを期待します。

さて、令和2年も残すところ1ヶ月となりました。毎年12月12日の漢字の日になんで、日本漢字能力検定協会が、その年の世相を表した漢字を発表しています。今年は、12月14日に発表されるようです。今回は、新型コロナウイルスに関する漢字になるのだろうと予想します。今年は、感染症対策に翻弄された年でありました。しかし、対策をしながら生活する中で、今までとは違った新たな方法も見えてきました。新型コロナウイルスは、私たちにさまざまなことを再考するよい機会を与えてくれたと感じます。

冬場に入り日本中で新型コロナウイルス感染者が増加し、11月19日には愛知県が、警戒レベルにあたる感染状況の指標を、これまでの「警戒領域」から「嚴重警戒」へと1段階引き上げました。学校では、今まで行ってきた感染症予防対策に加え、学校薬剤師さんの指導により、授業中は、廊下側の天窓を開け、南側の両隅の窓を5cm程度開けて換気をしています。また、放課中は窓を全開にして換気を行っています。ご家庭におきましても今まで同様感染症予防対策をお願いいたします。

合唱祭を中止します

12月18日(金)に予定されていましたが合唱祭ですが、練習方法、発表方法を工夫して実施する方向で考えてきました。しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考え、生徒の健康・安全を第一に考え、残念ではありますがやむなく中止にします。

いつもとは違う方法で避難訓練を行いました

いざという時のために、いつもとは違った方法で避難訓練を行いました。

地震の避難訓練では、掃除の時間に地震が発生したという想定で、抜き打ちで訓練を行いました。第1次避難で頭部を守る行動を取った後で放送の指示により各自で避難する方法をとりました。避難時の私語、避難経路等の課題が見つかりました。

火災の避難訓練では、防火シャッターを降ろした状態で避難を行ったことで、普段より確実に長い時間がかかることを経験しました。それゆえ、煙を吸い込まないようにハンカチで口を押さえる必要に迫られることが実感できたと感じます。

ジャージでの学校生活を許可します

「衣服についてのウイルスを除去するために、こまめに洗濯をしたいが、制服は洗濯がしづらい。」と、先日のPTA常任役員会で役員の方からご意見をいただきました。そこで、換気による防寒対策を含め学校で検討し、以下のようにジャージによる学校生活を許可することにしました。

※ジャージ登校を推奨するものではありません。

- ① ジャージでの学校生活（登下校を含む）を許可します。
 - ・ジャージは洗濯が容易であるため、付着したウイルスを除去しやすい。
 - ・ジャージの下に重ね着しやすいため、窓際、廊下側の生徒の防寒対策になる。
 - ② 校舎内でコートやウィンドブレーカーなどの防寒着は、今まで通り着用しないように指導します。
 - ③ 寒暖の対策は、ジャージの下にセーター等を着て調整するように指導します。
 - ④ 体育の授業は、今まで通り体操服・ジャージのみで参加します。
 - ⑤ 全員が制服で登校する日を設定することがあります。（式日など）
- ※女子生徒の黒タイツにつきましては、生徒会で検討中です。今しばらくお待ちください。

体育館（メインアリーナ・サブアリーナ・武道場）にエアコンが設置されます

災害時の避難所となる、体育館のメインアリーナ・サブアリーナ・武道場にエアコンの設置工事を行っています。現在、メインアリーナの工事が完了しました。寒い中での行事や夏場の体育の授業などでエアコンの利用が可能になります。災害時（停電時）でもエアコンが使えるように、プロパンガスでエアコンを動かす仕組みになっています。そのため、大きなガスタンクもプール南側と弓道場南側に設置されました。停電時には、発電ができる仕組みも備えており、メインアリーナ・サブアリーナ・武道場には、非常用コンセントも設置されました。他市町に先駆けた設備となっています。



メインアリーナのエアコン



プール南のガスタンク・室外機



弓道場南のガスタンク

コロナウイルス対策で自動水栓を設置しました

コロナウイルス対策で、廊下・トイレの手洗い場の蛇口を自動水栓に変えました。手をかざすだけで水が出るので、蛇口を開け閉めする時間が短縮され、これまで課題であった手洗い場の密集を和らげることができます。衛生面でも効果は絶大です。



